

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

地域と共に生きるく名寄市文化奨励賞受賞を経てく

社会福祉法人 なよろ陽だまりの会

社会福祉法人 なよろ陽だまりの会(池 昇一理事長)は、長年にわたる障がい福祉向上への取り組みが高く評価され、令和7年度名寄市文化奨励賞を受賞いたしました。受賞を記念する式典は令和7年12月7日に、名寄市内のグランドホテル藤花で開催され、名寄市や美深町の自治体・議会関係者、企業の皆さま、法人役員や職員、利用者など約220人が出席し、盛大に執り行われました。

なよろ陽だまりの会は2014年に設立。障がいのある方々の職業と生活を支援し、「働く喜び」、「地域で生きる力」を育みながら、社会参加を通じて自立した活動を進めることを目的に歩みを重ねてきました。設立当初60人だった利用者は、現在では126人へと倍以上に増え、市内を中心に多様な事業を展開し、名寄を含む上川地域全体の障がい福祉の充実に寄与しています。特に、多機能型就労継続支援B型事業では、食堂運営や自治体指定ごみ袋の製造、イオン名寄店2階フードコー



加藤市長・池理事長・長谷川総合施設長

トでの出店、市内高齢者への配食サービス、畑での野菜栽培を通じた農福連携の取り組みなど計9事業を展開。地域に根差した仕事を通じて、利用者一人ひとりが役割と責任を担い、やりがいを持って働ける環境づくりを進めています。

さらに生活介護事業においても、自治体指定ごみ袋の製造や機密文書のシユレッター作業などの業務を受託し、市内外の障がいのある方々の継続的就労支援と地域に必要なサービス提供に重要な役割を果たしています。

また、利用者が安心して地域生活を送れるよう、市内8カ所にグループホームを開設。金銭や健康面の管理支援、洗濯や入浴などの日常生活援助に取り組み、働く場と暮らしの場の両面から自立を支える体制を整えています。こうした継続的な取り組みにより、同会は地域社会にとって欠かすことのできない存在へと成長しました。

加えて、保護者の組織である名寄心と手をつなぐ育成会との両輪による活



体験発表する本人部会のみなさん

動は、障がいへの理解を深める啓発や交流の機会を広げ、地域福祉の向上に大きく貢献しています。

今回の受賞決定は、これまでの地道な活動が高く評価されたものです。名寄庁舎で行われた受賞者決定の記者会見では、名寄市長の加藤剛士氏が「審議会の答申を尊重して決定した」と述べ、その功績をたたえるところにも、今後のさらなる活躍に期待を寄せました。

記念式典では表彰セレモニーが行われ、加藤剛士名寄市長から池理事長と長谷川まゆみ総合施設長へ賞状と盾が授与されました。池理事長は「この奨励賞は、職員や利用者の日頃の努力、そして活動を支えてくださる地域の皆さまのおかげ。『共に働き、共に生きる』をモットーに、今後も一層精進してまいります」と感謝

と決意を述べました。来賓からも「皆さんの元気が地域の元気につながる」「今回の受賞が地域の障がい福祉の未来を照らす新たな一歩となることを願う」といった温かい祝辞が寄せられました。



式典の最後は陽だまり合唱団の歌声で

(なよろ陽だまりの会施設長

岩崎 甚一郎)



全道大会 登別大会

9月26日は、登別で会いましょう！

地域の皆さまと広く手をつなぎ、
障がいのある方々への理解を拡げよう

第71回北海道手をつなぐ育成会全道大会
登別大会実行委員長 東田 美智子
(登別市手をつなぐ育成会会長)



北海道手をつなぐ育成会
第71回全道大会登別大会実
行委員長に選任されました
東田美智子です。娘が現在
就労支援事業所に通所して
います。知的障がいと共に
生きる娘の親として孤軍奮闘した子育てでし
たが、中学生で初めて特別支援学級に通わせ
た当時の私に適切なアドバイスをくれたのが
外でもない育成会でした。以来、育成会活動
は人生の大切な一部となり、現在は登別市手
をつなぐ育成会の会長を拝命しています。

昨年度、大成功を収めた千歳大会の後とい
うことで、素直に重責を感じております。何
分このような大役は初めてです。わからない
ことが多くご迷惑をおかけすることもあるか
もしれませんが、登別の会員はじめ室蘭・伊
達・白老・苫小牧の胆振ブロック育成会の心
強い仲間、実行委員のみなさまのお力をお借
りしながら、開催までの責を果たしたいと思
います。これからもご理解とご協力のほど、
どうぞよろしくお願い申し上げます。

山田事務局長が中心となって大会プログラ
ムの作成に思案しているところです。昨年8
月30日に胆振ブロック臨時総会にて第71回全
道大会登別大会の実行委員会設置が決まり、
12月13日に第1回実行委員会が開催されまし
た。以前は2日間大会が主流でしたが、人手
の確保や市況の値上がりなどからプログラム
を1日に集約することとしました。今後は1
日大会というコンパクトスタイルが主流にな
っていくのかなと思っています。

第71回登別大会は、2026年9月26日(土)
10時より、登別市民会館を会場に開催予定で
す。大会スローガン「Let's all hold hands」(み
んなで手をつなごう) 障がいのある人たちの
理解を地域の隅々へ」。大会テーマ「ようこそ
登別温泉へ!! 集いしみんなの心と体もぽか
ぽかに」を掲げます。

分科会は、
① 発達・教育【児童期】(一般公開)
② 自分らしく地域で豊かに暮らす【成人期】
③ シニア世代の暮らし方【高齢期】
④ 新時代の育成会活動【育成会活動】
ということ、障がいとともに歩む方々の成
長過程に即した4テーマで準備を進めていま
す。また皆さんのお楽しみ「思い出観光」は
登別伊達時代村を予定しています。
実行委員会メンバー一同、大会の成功にむ
けて引き続き準備を進めます。どうか皆様の
ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。
そして秋には、湯の街のぼりべつで皆さまと
お会いできることを楽しみにしています！

登別大会の主な日程

9月26日(土)

登別市民会館 (開閉会式・記念講演・分科会・
チャレンジド・懇親会)

登別市観光交流センター(ダブル
(本人大会分科会)

10:30~11:10 開会式・表彰式
11:15~12:00 中央情勢報告
全育連会長 佐々木 桃子 氏

13:00~15:20 分科会

15:30~16:50 記念講演(一般公開)
ミネルバ病院 副院長 田中 康雄 氏

「発達障害を持つと思われる人たちの生きづ
らさを理解する」
16:55~17:50 閉会式
18:20~20:20 懇親会

※開催要綱は6月下旬に各育成会・事業所・本
人会に送付する予定です。ホームページにも
掲載します。

2026年度4~7月の主な予定

4月20日(月) 第1回理事会
5月25日(月) 定時総会
6月上中旬 会長表彰者選考委員会①
6月20日(土) 事業所協議会総会・研修会
6月23日(火) ブロック事務局長・活性化対策委
員合同会議
6月28日(日) 第1回ピアカン・実行委員会
7月1日(水) 会長表彰者選考委員会②
7月7日(火) 第1回広報・企画専門委員会

私たち育成会、ただ今、奮闘中!

地区育成会の活動紹介

その18

初の一泊旅行 美深温泉へ

(ひばりサークル)

ひばりサークルでは、活動行事で初となる温泉一泊旅行を昨年7月19日～20日に行い、参加者24名(本人18名、支援者6名)が美深温泉に宿泊しました。

今回の一泊旅行は、一昨年2月3日にご逝去された森川剛さんの「お金を積み立てて一泊旅行を行いたい」という想いを実現することができました。きっと森川さんも一緒に美深温泉旅行について来ているものと感じており、私も皆さんも、きっと森川さんも大満足されたでしょう。

一日目の美深温泉には午後4時頃に到着し、チェックインして、早速温泉に入る人、部屋で休憩する人とそれぞれが一日の旅の疲れを取っていました。



夕食は、鍋料理、刺身盛り合わせ、開きホッケなどを食べながら、楽しい会話をしながらの食事です。夕食後は部屋に



戻り、温泉に入る人、部屋でゆっくり休む人、就寝する人など、各自が自由な時間を過ごしていました。

二日目、朝食はバイキングで、皆さん好きなおかずを食べられる量を少しづつ取り、主食の白飯、パンとサラダ、ヨーグルトなどを食べていました。「皆さん朝から食欲があるなあ」とびびりました。

朝食後は部屋の片づけをしてロビーに集合し記念撮影。チョウザメ館でも記念撮影をしました。チョウザメ館の見学では、チョウザメに餌を与えました。その後、美深温泉に迎えに来た福祉バスに乗車して、昼食弁当をなよる陽だまりで受け取り、名寄の道の駅で昼食を食べました。道の駅でお土産などを購入したり、ソフトクリーム、かき氷、蕎麦を食べる人など、皆さん楽しんでいました。

次に、剣淵のアルパカ牧場では、集合写真を撮ってからアルパカとふれあいました。牧場スタッフが、アルパカの血を吸うアカウシアブをハエたたきで退治していました。「人間も刺されると、とても痛い」と言っていました。



帰りは、当麻の道の駅で小休憩し、午後3時頃に「おびつた」に無事到着し解散しました。

一泊旅行は、どうしても費用かかり高額となりますが、実施したアンケートでは一万円程度なら出せるとの声もありました。また今

年も、皆さんが楽しく満足するような一泊旅行を計画して、実施出来ると良いなと思っています。これまでなかなか出来なかったことが、実現できたことはとても良かったし、とても楽しかったことを嬉しく思います。

(ひばりサークル会長 旭川手をつなぐ育成会 副会長 菅原 広美)

障がい者就労施設等製品展示会開催

2月18～20日、北海道庁1階ロビーで、道内27事業所の製品展示・即売と各事業所の紹介のパネル展示が行われました。本展示会は、道民に障がい者福祉についての関心と理解を深めてもらうとともに、障がい者の社会参加の機会を広げることを目的に北海道の主催で毎年開催しています。道育成会事業所協議会からは11事業所の製品を展示・販売しました。お昼休みの時間帯には、道庁職員も多数来場していました。

展示会には、3日間で延べ1080人が来場し、売上は事業所協議会で21万4670円でした。



4・5月の予定

4月20日(月)

第1回理事会

5月25日(月)

道育成会定時総会

生活サポート協会定期総会

障害のある方向け 総合保険



あ！それウチかもと思った方！

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

ぜんちの あんしん保険 障害のある方とそご家族へ

少額短期健康総合保険(告知型)2019年創設

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

ぜんちの こども傷害保険

特別支援教育を必要とされている方へ
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

25TX-004122(2025年11月作成) Z012-2510R00

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

ぜんち共済株式会社 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
関東財務局長(少額短期保険)第14号 九段北325ビル4階

平日9時~17時

土日・祝日・年末年始を除く

URL: <https://www.z-kyosai.com/>

0120-322-150

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地
札幌セントラルビル2階
有限会社オフィスブレイン
TEL:011-207-2522 FAX:011-207-2523

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約17万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2025年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園2F

TEL:011-221-7009 FAX:011-221-1704

受付時間:午前9時~午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL:011-204-7510

受付時間:午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL:011-251-0855 FAX:011-251-0804

受付時間:午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2026年1月現在の内容です。(D-008145 2026-12)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かのる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

社会福祉法人 ノンノ

〒061-3208 石狩市花川南8条3丁目71番地

TEL (0133) 77-5305 FAX (0133) 72-7737

e-mail: karipu@amail.plala.or.jp

■グループホーム カリブ(定員6名)

世話人さんが、毎日心をこめてつくる美味しいご飯を
食べながら、6人仲良く心
穏やかに暮らされています。

■居宅介護事業所 あしる

毎日の外出を支援するほか、
時にはみんなで密を避けな
がらお出かけします♪

